

講演要旨

『環境 DNA メタバーコーディング：

バケツ 1 杯の水から棲んでいる魚がわかる技術』

森や川にどんな魚がいるのか知るには、網や釣りで魚を直接捕るか、潜水して直接観察するしかなかった。いずれの方法も、大きな手間と費用がかかる上に、専門家でないと魚の種類が判らない。私が開発した魚類環境 DNA メタバーコーディング法（MiFish 法）は、魚が粘液や糞を通じて水中に放出した DNA（環境 DNA）を超並列分析することで、どこにどんな魚がいるのか誰でも判るようにした技術である。

この技術は国内外で広く用いられるようになり、世界標準法の地位を築きつつある。本講演では、MiFish 法を考案するに至った道のりと本手法の概要と応用、さらには MiFish 法が世界の魚類多様性をめぐる諸問題にどのような貢献ができるのか論じる。